

京極読書新聞 <第66号>

発行日 平成27年4月1日(水)
京極町生涯学習センター湧学館

今年も始まります！

後志の文学講座「山麓文学館3」

私たちの山麓には、まだまだ知られていない名作がいっぱい。今年度も山麓の旅は続きます。5月から9月までの全4回開催を予定。プラス、10月10日(土)の「後志文学散歩・バスの旅」で今年度の「山麓文学館3」は完結します。



5月15日(金)第1回 「東倶知安と文学」

まずは初顔合わせ。今年の1～2月に倶知安風土館で行った「倶知安と文学」テキスト3冊を「東倶知安と文学」と読み換え、今年度のスタート地点を確かめます。後志の文学読書会も今年度で7年目。読んできた作家の数は30人を越え、作品数は優に50タイトルを越えています。それでもなお、読むべき後志関連の作家・作品はまだまだ存在しているということを今年度の新メンバーみんなで確かめましょう。



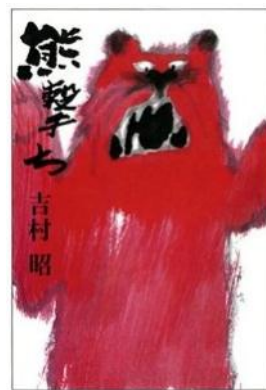
京極読書新聞は
毎月1日発行予定です。

日程：毎月第2金曜日 午後7～8時
会場：湧学館読書室
講師：新谷保人（湧学館司書）
定員：10名

*読書会のテキストはすべて湧学館で用意します。
*参加申込みは4月15日(水)までに湧学館カウンターへお願いします。

6月12日(金)第2回 吉村昭「与三吉」

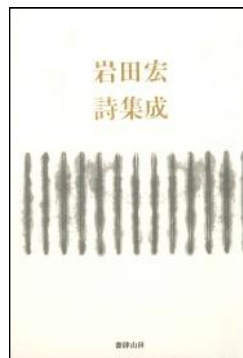
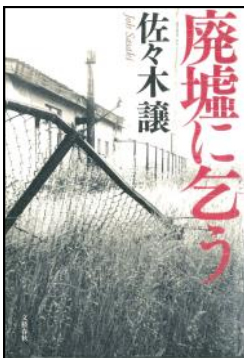
吉村昭の短編集に「熊撃ち」という作品があります。北海道の大自然を舞台に、獰猛で巨大なヒグマと猟師の息づまる対決を、実際の事件に題材をとって描いた迫真の小説集なのですが、その中から、無意根（むいね）あたりの山々が登場する「与三吉」という作品を読みたいと思います。吉村昭さんの作品、読書会でとっくにやっているとつい思い込んでいたけれど、調べてみたら今回が初めてでした。最初の作品が「与三吉」なんて、洒落てますね。



2ページ目へ続きます

7月10日(金) 第3回
佐々木譲「オージー好みの村」

佐々木譲の直木賞受賞作「廃墟に乞う」の中に収められた一編に「オージー好みの村」という作品があります。ニセコの貸別荘で見つかった女性の絞殺死体。北海道警察を「休職中」の刑事・仙道孝司は、オーストラリア人と日本人不動産業者の確執に事件解決の鍵を見いだす…という、後志の文学読書会始まって以来のバイオレンス作品。大丈夫かな？という気もするけれど、佐々木譲の作品は取材が緻密なので読んでいて楽しいのです。登場人物の動きまわる時間・空間が正確無比で、物語にスピード感が生まれます。



8月 / 夏のお中元
湧学館編「岩田宏詩集」

8月の第2週金曜日はお盆の時期と重なってしまいました。第4週にずらそうかとも考えましたが、この日は月末の館内整理日で開館していません。例年、7～8月の図書館は夏休みの子どもたちで忙しいので、無理をせずお休みにしたいと思います。その代わり、お中元がひとつ。東俱知安村出身の有名な詩人・翻訳家、岩田宏（翻訳時のペンネームは小笠原豊樹）さんの湧学館オリジナル詩集をつくる予定です。今年は岩田さんの初盆にもあたります。ふるさとの京極に還ってきているかもしれませんね。

9月11日(金) 第4回

映画「華の乱」（会場：湧学館2階視聴覚室）



永畑道子著「華の乱」「夢のかけ橋」も所蔵していますが、やはりここは映画でしょう。吉永小百合が「与謝野晶子」、松田優作が「有島武郎」という設定、観る前は相当な無理があるなあ…とっていたのですが、実際に映画がはじまってしまうと、そんな思いは吹っ飛んでしまいます。むしろ、こんな「有島武郎」初めて見た！と心から感心しました。さすが、監督・深作欣二！松坂慶子演じる「松井須磨子」も迫力です。女優って凄いなあ！と久しぶりに唸って、2時間19分の長丁場があっという間に過ぎてしまいました。観終わった後で、この全員笑顔のDVDパッケージはしみじみと怖い。

10月10日(土)
バスの旅(コース未定)

3月11日(水)放送 NHKラジオ第1/道内向け
おはようもぎたてラジオ便
「わが街のミュージアム」で
湧学館を紹介していただきました



放送内容を書き起こして掲載します

●…NHKアナウンサー市川さん ▲…湧学館(向出)

●毎週水曜日のこの時間は、『わが街のミュージアム』です。その土地の文化や風土など、地域がもっとよく解るそんな施設をご紹介します。

今朝は、羊蹄山のふもと、後志の京極町にある『京極町生涯学習センター湧学館』です。湧き水の「湧く」という字に「学ぶ館」と書いて『湧学館』。さて、どんな施設なのでしょう。町の教育委員会・生涯学習課の向出絵梨香さんにご案内いただきます。向出さん、おはようございます。

▲おはようございます。

●お天気、いかがですか？

▲今日はちょっと、雪が強く降っています。

●今日ご紹介する施設の名前が『湧学館』。いい名前ですね。

▲ありがとうございます。京極町は羊蹄山のふもとにあって、おいしい湧き水が豊富に湧きだしています。『ふきだし公園』という名水が湧き、汲むことができる公園もあります。

●ふきだし公園は有名ですね。

▲そうですね。そんな湧き水のように、いつまでも学ぶ意欲を持ちつづけたいという思いが、この名前に込められています。

●町の人たちの、たっぺの希望でこの湧学館は作られたそうですね。

▲はい、2004年に出来て、去年の11月で10周年を迎えました。中には、図書館や資料館、絵画の展示コーナー、陶芸教室、視聴覚ホールなどがある複合施設になっています。

●盛りだくさんですね。

▲『湧学館』があって良かった、と町の人たちに言ってもらえるような、そんな施設にしていきたいと思っています。

●京極町の町民憲章には「教養を深め、伸びゆくまちをつくりましょう」という一文がありますが、まちづくりに欠かせない施設にしていきたいという思いがみなさんにあるんでしょうね。

▲京極町は【日本で最も美しい村】という連合にも加盟していますが、そういう地域にするためにも、自分たちの地域に誇りを持てるように利用者みなさんが、何かそのきっかけを得られれば、と思っています。

●京極町の皆さんが誇りを持てるように、学ぶことも必要だということなんですね。

ホームページを見ると本当にいろいろな活動をしているのがわかるのですが、例えば図書館。資料などの展示もありますし、テーマにこだわったコレクションもありますね。図書新聞の発行も毎月1回、かなり活発ですね。

▲湧学館に入ると、まず目に入るのが【新着本の展示コーナー】になっています。その他にも、月替わりのテーマ展示や、話題の本、新聞などの書評に載った本、受賞した本など集めて紹介しています。

●新聞などの書評を読むと、本を手にとってみたくなりますよね。

▲京極町出身の漫画家・香村陽子さんのコーナーや、最近では、ドラマ『マッサン』についての資料コーナーなども用意しています。

●大勢の町民の皆さんに、何か読書のきっかけをつかんでもらいたいという思いが、色々な展示になっているんですね。

▲色々な本に触れて、関心を広げてもらえたらと思っています。



▲マッサン・竹鶴政孝大特集

3月11日(水)放送・NHKラジオ第1「わが街のミュージアム」続き

- それから京極町と水！この2つについては継続的に資料を集めているそうですね。
- ▲【北コレクション】と【水コレクション】と呼んでいて、どちらも郷土資料として継続的に集めています。
【北コレクション】には「旧京極町郷土館」を引き継いだ資料などがあります。脇方鉱山や旧国鉄胆振線に関するものなども積極的に集めて公開しています。
- 湧学館になる前は、京極町郷土館というのがあったんですね。その資料を引き継ぐ形で、どんどん増やしていると。
- ▲【水コレクション】は羊蹄山から湧きだす名水が町の宝でもあるので、その価値を広く知ってもらえるように、色々な資料を集めています。
- どのような資料があるのでしょうか？
- ▲ 「名水ガイド」や「名水紀行」などはもちろんですが、地質学的なものや、文学、写真集、画集、ダムなどの本や、大雨などの災害について、その他水を使った健康法についての本などいろいろあります。
- こうしたいろいろな資料があるおかげで、問い合わせもずいぶんあるそうですね。
- ▲ 社会人の男性から電話があり、「父が京極町甲斐地区の生まれ。明治41～42年頃、祖父の代に山梨県から移住してきたのだけれど、当時のことがわかるような資料はないか。」という問い合わせがありました。
最終的に、こちらにある昔の地図で、お爺さんが入植した場所を見ていただくという形で対応しました。
- 昔の資料を丁寧に見ていくことでそんなこともリアルにわかるんですね。それも図書館の大事なサービスのひとつだと思うんですけども、このほか『読書新聞』も毎月発行していますし、町の人達の地域を知りたいという意欲が新聞を読むとよく分かってきますね。これからどんな施設にしていきたいとお考えですか？
- ▲ 故郷を知るための手助けというのはもちろんですけれども、町の人達が気軽に集まれるような施設を目指しています。
- 気軽に集まって、こんな本があるんだ、読んでみようかなとか、そんなきっかけが出来てくると、またいろんな動きにも繋がりますね。どうもありがとうございました。



当日は、朝7時50分頃から約6分間の放送でしたが、資料の展示や読書新聞、水コレクションなど、ホームページをもとに色々な面から、湧学館を紹介していただきました。

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.cubet.com/>

